

### 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊那谷子育てフェス 2016 ～伊那からはじめるアウトドアライフ～
事業主体 (連絡先)	「伊那谷は子育てバレー」実行委員会 (伊那市坂下 3101-4)
事業区分	6 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,196,562 円 (うち支援金 : 1,506,000 円)

#### 事業内容

「子育てにぴったりな田舎」伊那市をはじめ、伊那谷は自然環境や教育・子育て環境に優れた、子育ての適地である。伊那谷の子育て世代を応援するべくスタートした「伊那谷子育てフェス」であるが、2年目となる今回は、アウトドアを軸に据え、さまざまなライフスタイルの提示を行うワークショップやステージなどを含んだイベントを、9月の3連休にわたり、長野・伊那きのこ王国にて開催した。キャンプ体験、バーベキュー講習、郷土料理などの提供、体験ブース、マウンテンバイク体験会、子どもや子育てママによるブースとワークショップ、パネル展示および多くの出演者によるステージイベントと、盛りだくさんの内容であった。



【イベント会場】

#### 【目標・ねらい】

- ①伊那谷が子育ての適地である、というメッセージの発信
- ②多様なライフスタイルの提示
- ③イベントの継続実施

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 3日間の来場者数は、悪天候の中であったが約5,500名となり、昨年を大きく上回った。会場側による同日開催イベントなどもあり、一つのイベントとして定着しつつあると考えられる。
- ② アウトドアに関する展示や体験（キャンプ、バーベキュー、マウンテンバイクなど）をはじめ、ステージやブースには地元の方が多数出演いただき、生の声としてのライフスタイルの提示ができた。
- ③ 来場者アンケートでは、約8割がイベント継続を望んでおり、今後の開催への期待が高まっている。

#### ※自己評価【 A 】

【理由】想定以上の来場者を得られたことや、昨年以上に出展者や来場者の交流が始まっている。また、来場者の声からも本イベントへの一定評価が得られた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「伊那谷が子育ての適地である」という情報発信や子育て世代の応援については、長く継続するべきものである。本イベントが地域に根付くことが、さらなる交流人口の増加や交流の機会の増加につながると考えられる。次年度以降は、伊那谷というエリアを意識しながら、さらに広範囲に情報発信やイベント展開を図っていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある